

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

6月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。

2019.8.20 No.81

特集

那須塩原市 PTA 連絡協議会 × 市議会

MENU

- 特集……………P 2
- なしおふれあいトーク……………P 4
- こんなことを審査・調査しました…P 6
- こんなことを聞きました……………P10
- Future……………P20



お互いに磨き合える市P連 でありたい



「那須塩原市 PTA 連絡協議会」は、市内の小中学校および義務教育学校 30 校の PTA 会長と学校長で組織された団体です。黒磯、西那須野、塩原各地区の中学校区ごとに輪番制で協議会役員が選出されています。

■那須塩原市 PTA 連絡協議会 (市 P 連) の活動について

市内の小中学校および義務教育学校で連携を図り、教育振興に関する行事の運営や各 PTA 同士の親睦を深める活動をしています。主な活動としては、那須塩原市教育講演会の開催や市長への教育振興に係る提案、那須野巻狩まつりへの参加、PTA 会長懇談会の開催などです。

■那須野巻狩まつりではどのようなことをされていますか？

市 P 連では例年、勢子鍋を振る舞っていますが、今年は、本市が生乳生産本州 1 位ということ PR しようと、牛乳を使った巻狩鍋を考案中です。来年はオリンピックもあるので、世界の選手と本市の中学生の交流でもこの鍋を使えないかなとも考えています。

■ PTA 役員になったきっかけは？

子どもがお世話になっていることに対する恩返しのような気持ちで役員を務めています。

市議会は年齢層が偏らずに バランスが良いと思う

■ PTA 活動の課題とやりがい

◆仕事や普段の生活と PTA 活動を両立させるのは大変なこと。PTA 活動が負担にならないように参加しやすい仕組みを作ることが課題です。その一方で、さまざまな行事において、企画提案したことが実現し、子どもたちのためになっていると感じた時にやりがいを感じています。
◆自分のような主婦に会長職を任せただけというだけでも充実感があります。

■これからの市 P 連の活動に対する抱負について

◆昔と比べて、地域で子どもを育てていくという考え方が希薄になりつつあります。市 P 連では、子どもたちが積極的に地域の祭りなどに参加できるような企画を提案するなど、地域と子どもをつなぐの一助となることを目指して今後も活動していきます。
また、市内 30 校の PTA 会長と校長先生との間で情報を共有し、各学校単位の PTA の取り組みに生かしていきたいと考えています。

◆市 P 連の役員は輪番制なので、毎年総入れ替えになります。その年ごとのカラーで活動していければ良いです。

■市議会のイメージについて

若い議員が増えた印象があります。私たちと同じ子育て世代の議員が増えたことはとても心強く感じます。できれば、女性議員がもっと増えるといいですね。

なしおふれあいトーク

議会報告会および意見交換会

テーマ 那須塩原市の魅力をいかに活かすには？

那須塩原市の魅力

- 食
 - 生乳生産が本州一
 - おいしいカフェ・パン屋さんがたくさんある
 - 農畜産業が盛んで食べ物が新鮮でおいしい



- 人
 - 人柄が良い
 - ボランティア活動に対して、協力体制が良い
 - 市議の皆さんや市民が良くしてくれる

- 道
 - 東京へのアクセスが良い
 - 高速道路のインターチェンジがある
 - 道が広く、運転しやすい



- 自然
 - 自然が豊か
 - 那須連山の景観
 - 災害が少ない

- 商工 観光
 - 新たに認定された日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」
 - 豊かな温泉、まつり(例:巻狩まつり)、歴史
 - スキー、川遊び、ポルダリング、紅葉狩りなどアクティビティが豊富
 - 塩原温泉と皇室(大正天皇)との関係(ロイヤルリゾートカ)

- 他
 - メディアで紹介されるほどの魅力がたくさんある
 - 那須塩原クリテリウムがある
 - 素晴らしい芸術家、芸術活動がある
 - ALT(Assistant Language Teacher)の全校配置
 - 犯罪が少ない

魅力を活かすには



- 発信
 - 市民への魅力の周知、魅力の再発見、情報の共有を図り、人柄を活かした来訪者へのPR(交流などを通じて)
 - SNS(インターネット等)をもっと活用して情報を発信、見てもらえる、目にとまる発信
 - 那須塩原市の良さを自慢、発信できる人材を育成する
 - スポーツ、アート、食、温泉をパッケージにしてPRする

- 企画
 - 日本遺産の構成施設と温泉を絡めたツアーを企画
 - 観光資源をもっと有機的に連携させ、魅力を高める
 - インスタ映えするような人工的な構造物を作ってはどうか
 - 日本遺産の関連施設を自転車で周れる整備をする
 - 自然を利用して農業体験のできる施設を作る



- 食
 - 豊かな自然と特産物、地産野菜や果物を売り込む
 - お米などの農産物において、那須塩原ブランドを確立

市民参画

- 意見
 - 議員と話さきっかけがない
 - 議員に言っても仕方がないと思ってしまう
 - 市民としては、大きな問題がないから参画しない
 - 興味がない市民が多く感じる
 - 議会フォーラムのように市民の声を直接議員へ届けられる場はよいと思う



- 提案 要望
 - 中高生に授業の一環として議会の傍聴を促す。又は小学校、中学校、高校に議会が出向いてアピール
 - 主権者教育が大切なので、子ども議会を開催しては
 - 議会フォーラムを学校で開催しては
 - 市民一人一人が持っている問題は、議会で議論されていることに繋がっていることを伝えるべき
 - 開催していることを知らない方が多いと思うので、上手に広報してほしい
 - 議会を応援する(サポーター)仕事を作る
 - 議員と市民との話し合う機会を増やす

なり手不足

- 意見
 - 女性議員が3分の1以上になるよう努力すべき
 - 無投票では市が良くなる
 - 議員の仕事がよくわからない市民が多い
 - 若者が立候補しない
 - 調査研究のための十分な金額と透明性の確保
 - 議員を本業として行える報酬が必要



- 提案 要望
 - 教育の中で役割を教える(義務、責任、公助)
 - 男性の意識を変え、女性の議員を増やす
 - キャリア教育に政治家を呼んで、信念や体験を話してもらう

議員定数など

- 意見
 - 女性議員が少ない
 - 約4,000人に1人の議員だが、全員の声を聴いているわけではないと思う。
 - 議員定数は、22名程度に減らした方がよい
 - 立候補者が定数に近づくようであれば定数削減を
 - 人数を減らす必要はない(議員の活動が制限されるとともに、一人の責任や役割が多くなるため)



- 提案 要望
 - 大きな声の人(積極的に発信する人)の声は伝わりやすいだろうが、小さな声にも耳を傾けてほしい
 - 幅広い民意を伝えるには定数を増やした方がよい
 - 女性議員の割合を徐々に増やす
 - 議員に危機感を持たせるために、定数を減らしてもよいのではないかと

その他

- 他
 - 議員の皆様と直接意見交換ができてとても良かった
 - もっと一方的な説明をイメージして来たので、参加型であったことはとても良かった
 - 議員からも意見を出して双方で議論する形態が良い
 - 議会は自信を持って議会の機能強化に取り組んでいただきたい



こんなことを審査・調査しました

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
 【委員】◎佐藤一則○星野健二、平山武、大野恭男、櫻田貴久、伊藤豊美、齋藤寿一、金子哲也、中村芳隆

令和元年度那須塩原市一般会計補正予算（第2号）について

問 プレミアムつき商品券事業について、どのように周知を図るのか伺う。
答 市の広報による周知及びポスター、チラシを作成し関係施設等へ配布する。また、低所得者は、申請書にチラシを同封し申請漏れ等ないように対応する。

那須塩原市 上、中塩原温泉管理事業条例の一部改正について

問 特別使用料の納期限を延伸することについては、収納率を100%にするためか。
答 今回の改正では、財務規則に基づき、納期限を20日に設定することにより、納付義務者に円滑に納付していただくためである。

財産の取得について

問 新たに取得する消防自動車2台は、同じ車種か。
答 同じ車種の消防ポンプ自動車である。



福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
 【委員】◎齊藤誠之○中里康寛、益子丈弘、田村正宏、松田寛人、眞壁俊郎、高久好一、相馬義一、山本はるひ

那須塩原市図書館条例の一部改正について

問 現在の黒磯図書館は、駅前図書館オープン前日の6月30日まで開館しているのか伺う。
答 開館準備の関係で図書の移動等の時間も必要なので、黒磯図書館に関しては令和2年3月31日までは開館しているが、4月1日から6月30日までは休館日の扱いとする。また、図書の移動には5か月から6か月の期間を要するため、貸し出しについては少し早めに終了する方向でいる。ただし、黒磯図書館の施設は学習スペースもあり、3月は受験シーズンでもあるため、本年度内まで利用可能とする。

契約の締結について

問 埼玉小学校体育館改築工事について、屋根の工法が、以前、雨漏りなどのクレームが発生した高林小学校の体育館と同様のものとのことだが、問題ないか伺う。
答 屋根の工法は、高林小学校の体育館と同じであるが、当時は規定の隙間が確保されておらず、雨漏り

が発生してしましたが、今回は体育館の屋根の下張りのルーフィングに関して、程度の良いものを使用しているので問題ない。



建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
 【委員】◎星宏子○山形紀弘、小島耕一、森本彰伸、相馬剛、鈴木伸彦、玉野宏、吉成伸一

那須塩原市水道事業給水条例の一部改正について

問 10月1日からの消費税及び地方消費税の税率改定に伴う水道料金の改定について、どのように周知するのか伺う。
答 広報なすしおばら8月20日号及びホームページでの周知のほか、水道料金をお知らせする検針票に説明文を入れて周知する予定である。

所管事務調査

資源物等売り払い金の収入未済について

問 入札にあたり財務状況や書類の不備のほか、破たんする懸念が無かったのか。
答 正規の手順を踏んでおり、入札資格において不備はなかった。
問 6か月間入金にならず不審に思わなかったのか。その間、対策は取らなかったのか。
答 1、2か月間の未納は過去に数回あったが、催告と併せて指導を行った結果、支払いに応じていた。過去の支払い実績の信頼があったため判断が遅れた。

調査の結果として

このような事態は、財政問題のみならず、市民の行政に対する信頼を損なうものである。建設経済常任委員会としては、事業者の選定について、十分な審査を行うことと、実効性の高い再発防止策の策定を強く求めた。



予算常任委員会

【委員】◎佐藤一則 ○齊藤誠之 ○星宏子、その他全議員

問 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金508万8,000円が予算に追加計上されているが、通知をする時期や対象人数は。
答 児童扶養手当受給者には、7月に手当に係る現況届の案内を出す際に、未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金の案内も同封する予定である。また、対象者は1,200人を超えている。

問 旧とよら保育園用地の用地測量費51万9,000円が予算に追加計上されているが、今後どのように対応するのか。
答 用地測量および不動産鑑定は、7月～8月の2か月で行い、9月に売却に関わる方針を決定し、10月上旬に公売またはプロポーザル形式により手続きを開始、11月下旬に事業者の決定、12月に売買契約の締結、引き渡しとなる予定である。

問 急傾斜地崩壊対策事業費200万円が予算に追加計上されているが、工事箇所は、以前応急措置で実施した上塩原地区の箇所か。
答 隣接した場所ではあるが、以前実施した場所を再度やり直すものではない。

問 県の事業に対する、市の負担金200万円はどのような計算なのか。
答 受益者として、県の事業費2,000万円の10分の1の200万円が市の負担金である。

問 農村基盤施設整備事業費の工事の具体的な内容について伺う。
答 塩原の上（うわ）の原地区の排水路工事で、雨で排水路が傾き、陥没もあることから、県の追加補正予算に申請し採択された工事である。

陳情の審査結果

No.	受理年月日	件名	陳情者住所・氏名	結果
1	令和元(2019)年 5月21日	医療費助成における精神障害者の適用に関する意見書の提出を求める陳情書	〒329-2221 塩谷郡塩谷町玉生 1588-2 クローバーハーツ癒しの夢工房 代表 植村 健一	採択

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第 50号	令和元年度那須塩原市一般会計補正予算（第 2号）	可決
議案第 51号	那須塩原市図書館条例の一部改正について	可決
議案第 52号	那須塩原市体育施設条例の一部改正について	可決
議案第 53号	那須塩原市市営温泉事業条例の一部改正について	可決
議案第 54号	那須塩原市上、中塩原温泉管理事業条例の一部改正について	可決
議案第 55号	那須塩原市下水道条例の一部改正について	可決
議案第 56号	那須塩原市水道事業給水条例の一部改正について	可決
議案第 57号	財産の取得について	可決
議案第 58号	財産の取得について	可決
議案第 59号	契約の締結について	可決
議案第 60号	契約の締結について	可決
発議第 8号	議員の派遣について	可決
議案第 61号	那須塩原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第 62号	那須塩原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部改正について	可決
議案第 63号	財産の取得について	可決
議案第 64号	訴えの提起について	可決
発議第 9号	医療費助成における精神障害者の適用に関する意見書の提出について	可決
発議第 10号	議員の派遣について	可決

INFORMATION

インターネット録画映像配信中！

本会議の様子は、市議会ホームページからご覧いただくことができます。
本会議中は生中継も配信していますので、ぜひご利用ください。

スマートフォンをご利用の方

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、6月定例会の様子を動画でご覧になれます。

※動画は通信量が多いため、Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。

スキャン！



クリック！

那須塩原市議会 議会中継

検索

パソコンをご利用の方

また、【那須塩原市議会中継】でインターネット検索すると、議会中継のページが見つかります。

※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。

公式記録は会議録でご確認ください。

※録画映像は、会議当日より約1週間経過後からご覧になれます。

那須塩原市議会 議会中継

検索

クリック！



議場に行けなくても、
議会の様子を見ることが
できるモ～★

6月定例会インターネット中継アクセス数 2,029件



那須塩原クラブ
佐藤 一則議員



市長の掲げる基本理念「5つの創る」とは

問 やさしいまち、にぎわうまち、元気なまちの創造の具体的な事業は。

答 市長 子育てしやすいまちづくりを進めるため関係団体や民間企業との連携による子育て支援事業の充実、子どもの遊び場づくりの検討、発達支援システムによる支援体制の充実を図る。また、自治会活性化支援事業、コミュニティ設立支援事業、自主防災組織育成支援事業、景観条例に基づく取り組みも継続し、市民の安全安心につながる取り組みを推進していく。そして、交通アクセスの良さを活かしたテレワークやサテライトオフィスの誘致、ガストロノミーツーリズムなどを推進していくほか、付加価値のある農産物や乳製品を活用したチーズフォンデュなど新たな名産品の創出にも取り組む。その他、首都圏在住者との「関係人口、二地域居住」の可能性なども検討し、自然環境のすばらしさや教育施策の充実などを積極的に情報発信していく。

那須塩原駅周辺のまちづくりについて

問 那須塩原駅周辺のまちづくりは今後どう進めるのか。

答 市長 外部の専門家や有識者などで構成する検討会を新たに設置する。国や県、関係機関と協議し、県の北都にふさわしい民間事業者の参入意欲をかき立てる魅力的なまちづくりを進めたい。新庁舎の建設は、新庁舎建設基本計画をベースに、駅周辺のまちづくりビジョンとの整合性や調整を図りながら進めるとともに、地権者に対しては、引き続き丁寧な説明をしていきたい。



公明クラブ
田村 正宏議員



スマート自治体への転換について

問 スマート自治体構築のために必須とされる破壊的技術であるAI（人工知能）、RPA（人工知能などを活用した業務の効率化・自動化の取り組み）などを導入する考えは。

答 市長 AIやRPAなどは、本格的な人口減少社会の到来や労働力の供給制約に直面していく中で、今後の行政運営に必要なかつ有効な技術と認識をしている。先月、先進自治体の視察をするなど、検討を始めている。

問 すべての市民が公平に市民サービスを受けるためのマイナンバーカードの普及を急ぐ考えは。

答 市長 スマート自治体実現のためには、まず職員自ら率先して取得する必要がある。

問 従来とは比べられないほど変化のスピードが早い時代において「電子市役所計画」のようなスピードが求められる計画には、期限や数値を明示すべきでは。

答 市長 行政の計画はPDCAやKPI（重要業績評価指標）などにより事後検証するためにも数値目標を掲げることは重要である。

スクールロイヤー導入について

問 スクールロイヤー（学校の問題を法的に解決する弁護士）を配置し、教員の精神的、物理的な負担が軽減され、子どもと向き合う時間が増え、教育現場がより充実することが期待できるが、導入する考えは。

答 市長 教育の質が高まることが期待できることから、本市でもスクールロイヤー導入について研究していきたい。



敬清会
相馬 義一議員



那須塩原駅周辺再整備について

問 まちづくりの上で、新庁舎をどのように位置付けて、今後進めていくのか。

答 市長 まずは那須塩原駅周辺のまちづくりビジョンを明らかにする。那須塩原駅前が栃木県の北都としての玄関口である。駅前をどうするかだけではなく、那須塩原や栃木県北はどうあるべきか、どのようなビジョンを持つべきかが重要である。その上で玄関口である那須塩原駅周辺をどうするかを明らかにしていく。これまで市民の皆さんの意見もたくさん聞いてきたが、外から見た新庁舎の建設、駅周辺のビジョンの検討を進めるなかでビジョンとの整合性をとりながら進める必要がある。新庁舎はまちづくりを進める上で重要な構成要素であると認識している。

那須高林産業団地、那須塩原駅周辺への企業誘致について

問 企業誘致に今後どのように取り組むのか。

答 市長 1日でも早い企業立地を図るため、迅速かつ計画的に整備を進めて、多くの雇用が見込めるような製造業、固定資産税の増収が期待できる企業を誘致していきたい。誘致にあたっては、私がこれまで培ってきた人脈を通じてトップセールスをかける。まずは、那須塩原市を訪れてもらい、その後那須塩原市に工場を建ててもらおう。そして那須塩原市に働きに来てもらえる取り組みをしていきたい。



志絆の会
眞壁 俊郎議員



市長の市政運営について

問 那須塩原市の現状認識は。

答 市長 自然に恵まれ、農業、観光業、商業、工業のバランスが良く、都心部へのアクセスが素晴らしい一方で、人口減少や高齢化の問題を抱えている。そして多くの人がデフレ、つまり景気が冷え込んでいることを当たり前だと思っていると感じている。この景気の冷え込みを払拭できれば、那須塩原市はもっと活力を持ち、元気になれると感じている。

問 行政運営上、重要なものの一つが職員との関係であると思っている。職員に対してどのような考え方ができるか。

答 市長 行政をこれまで支えてきた職員と、これまでの行政の継続性、そして私のリーダーシップ、これらを組み合わせ、行政運営を行う。片方だけがひとり歩きして、私があれこれと一方的に言うだけでなく、かといってすべて職員に任せてしまっては何のために市長になったかわからない。行政の継続性と私のリーダーシップ、このベストミックスを考え、市政運営を行っていきたい。

問 教育や子育てに対する市長の考えは。

答 市長 両親や親戚、知り合いもいるふるさとで子育てがしたいという人に住んでもらうため、子育て世代がどこに住んでも、ある程度の年収や働く場所を確保して住めるようにすることが、地方の役割であると考えている。



山本 はるひ議員



「県北の中心地」と「市のPR」について

問 県北の中心地のイメージは。
答 市長 那須塩原市、那須町、大田原市、矢板市、那須烏山市まで、状況によって使い分けていく必要があると思っている。アクセス性の良さが大きな魅力であり、観光面で大きなポテンシャルを秘めている。

問 市のPRでの目標と成果は何か。
答 市長 プロモーションというのは、ターゲットを決めてやらなければ意味がない。一つの目標として、那須塩原市に多くの人に住んでほしい。そのためには、まず那須塩原に来てもらい、次に泊まってもらう。その最初の一步が観光であると思っている。ONSEN・ガストロノミーツーリズム^{*}はぜひ取り組んでいきたい。

問 那須塩原駅前において、栃木県北の観光情報や魅力などを一元化して発信する考えは。
答 市長 那須塩原駅前は、何が不親切で何が不便なのかということ洗い出す必要がある。

問 協働のまちづくりについての考えは。
答 市長 市民と価値観を共有することも非常に重要であると思っており、今後タウンミーティングの開催を予定している。

「日本遺産認定」は市内の融和を図るチャンス

問 合併以来の課題である「市内の融和」の考えは。
答 市長 特定の地域をよくしてほしいという声、融和を図って現状を変えてほしいという声、どちらもあつた。日本遺産認定はチャンスであると思っているため、融和につなげたい。



^{*}その土地を巡りながら、その土地ならではの食を楽しみ、自然や歴史・文化を知る旅のこと。ここに「温泉」をプラスした新しい体験が「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」



中里 康寛議員



災害時における住民目線の対策について

問 現行の西那須野地区のハザードマップでは、指定避難所である槻沢小学校の一部が50cm未満の浸水想定区域となっている。新しいハザードマップではどのように対応するのか。
答 市長 新たに指定された浸水想定区域では、敷地のごく一部を除き浸水区域から外れ、また接する市道も浸水区域となっていないことから、避難所として利用できる。

問 タイムライン（防災行動計画）策定の進捗状況と策定期間は。
答 市長 近年の台風は従来のもものと異なり、その規模や進路なども多様化していることに考慮しつつ策定を進めている。策定の時期については、来年度の出水期を目途に策定したい。

問 防災の観点から、今後公衆無線LAN（Wi-Fi）を公共施設に整備する予定は。
答 市長 現在、公民館の一部に取り入れている自動販売機Wi-Fiなどの導入を検討する。

サテライトオフィスの誘致について

問 サテライトオフィス誘致における市の考え方と課題は。
答 市長 これまで地方では、サテライトオフィスを誘致したことがないため、そのノウハウが栃木県内にはない。今後、サテライトオフィスの必要性を伝えていかなければならない。誘致については、今後那須塩原駅前周辺の整備などと併せて、取り組む予定である。



山形 紀弘議員



消費税増税に伴う本市の対応について

問 消費税増税に伴い、市の手数料や使用料にどのような影響があるのか。
答 市長 平成30年度中に手数料、使用料について検証作業を行った。検証結果を踏まえ、適切に消費税を転嫁するには料金の見直しが必要となる。今後増税後の景気動向を注視しながら、料金見直しの時期、範囲などを検討する。

問 投票率について
答 選挙管理委員会事務局長 投票率には、一般的に天候や選挙の争点など、さまざまなことが影響すると言われている。また、総務省によると、政治への関心が低いことや仕事や生活が忙しいことに加え、個人の権利行使に対する意識の変化も一因とされている。課題は、有権者の参加意欲が高まるような周知啓発と幼少期からの主権者教育だと考えている。

投票率について

問 今回、投票率が低下した要因と課題は。
答 選挙管理委員会事務局長 投票率には、一般的に天候や選挙の争点など、さまざまなことが影響すると言われている。また、総務省によると、政治への関心が低いことや仕事や生活が忙しいことに加え、個人の権利行使に対する意識の変化も一因とされている。課題は、有権者の参加意欲が高まるような周知啓発と幼少期からの主権者教育だと考えている。

問 新設された期日前投票所（イオンタウン那須塩原）の成果と課題を伺う。
答 選挙管理委員会事務局長 成果は、買い物ついでに投票ができるなど利便性が向上したこと、期日前の投票者数が増加したことである。課題は、これからどのように期日前の投票者数を伸ばしていくかである。

問 今後、投票率を上げるための取り組みは。
答 選挙管理委員会事務局長 地道な活動だが、主権者教育を継続していくことだと考えている。今後、先進事例の調査研究に取り組んでいきたい。

問 今後、投票率を上げるための取り組みは。
答 選挙管理委員会事務局長 地道な活動だが、主権者教育を継続していくことだと考えている。今後、先進事例の調査研究に取り組んでいきたい。

問 今後、投票率を上げるための取り組みは。
答 選挙管理委員会事務局長 地道な活動だが、主権者教育を継続していくことだと考えている。今後、先進事例の調査研究に取り組んでいきたい。

問 今後、投票率を上げるための取り組みは。
答 選挙管理委員会事務局長 地道な活動だが、主権者教育を継続していくことだと考えている。今後、先進事例の調査研究に取り組んでいきたい。



相馬 剛議員



市道572号線の整備について

問 東北自動車道の側道である市道上赤田北赤田572号線は、住民の生活道路となっているが、道路幅に対し、舗装部分が狭く車両のすれ違いが難しい。舗装や拡幅、側溝のフタ掛けの予定を伺う。
答 市長 この路線は、市道路整備計画での対象路線になっていないが、幅員が狭く見通しが悪いため、容易にすれ違うことができないため、部分的な舗装、拡幅を検討する。側溝のフタ掛けはNEXCO東日本と協議したい。

問 地域福祉の推進について
問 地域福祉計画における地域の概念は。
答 市長 日常生活で近所づきあいが深い地域、日常生活圏域を指している。
問 社会福祉法第4条については、福祉サービスを必要としない地域住民が福祉サービスの提供者になるという理解で良いか。
答 保健福祉部長 余裕のある人が困っている人を手助けするということである。

地域福祉の推進について

問 地域福祉計画における地域の概念は。
答 市長 日常生活で近所づきあいが深い地域、日常生活圏域を指している。

問 社会福祉法第4条については、福祉サービスを必要としない地域住民が福祉サービスの提供者になるという理解で良いか。
答 保健福祉部長 余裕のある人が困っている人を手助けするということである。

問 地域福祉推進の原動力は社会福祉協議会だが、その知名度を高める必要があると思うか。
答 保健福祉部長 社会福祉協議会は地域に出向いて市民と手を携えての活動によって知名度が高まると考えている。

問 地域の福祉ニーズをつかんでいる中で、今後検討する施策はあるか。
答 保健福祉部長 認知症徘徊^{はいかい}による交通事故の例があり、事業者や市民が一時保護し、市に連絡するシステムを検討している。

問 地域の福祉ニーズをつかんでいる中で、今後検討する施策はあるか。
答 保健福祉部長 認知症徘徊^{はいかい}による交通事故の例があり、事業者や市民が一時保護し、市に連絡するシステムを検討している。

問 地域の福祉ニーズをつかんでいる中で、今後検討する施策はあるか。
答 保健福祉部長 認知症徘徊^{はいかい}による交通事故の例があり、事業者や市民が一時保護し、市に連絡するシステムを検討している。

問 地域の福祉ニーズをつかんでいる中で、今後検討する施策はあるか。
答 保健福祉部長 認知症徘徊^{はいかい}による交通事故の例があり、事業者や市民が一時保護し、市に連絡するシステムを検討している。





森本 彰伸議員

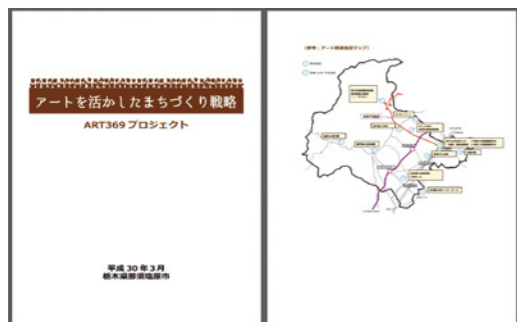


部活動指導員の活用について

問部活動指導員制度の有効性は。
答教育長 専門性の高い指導を受けられることによる生徒の技能の向上、教員の部活動指導に係る業務負担や精神的負担の軽減が考えられる。
問部活動指導員の人数と報酬に係る採用計画は。
答教育長 部活動指導員は、今年度一人を試行的に配置する。その有効性と課題を検証し今後の採用を検討する。報酬は、一人約50万円で年間220日、約500時間を想定している。
問部活動指導員に想定される職歴と、求める資質は何か。
答教育長 職歴は、特に定めがないが、時間を確保するには、職業も限られると思っている。資質については、担当するスポーツについての高い専門性と指導力に加え、学校での教育活動への深い理解、そして何よりも子どもが好きということが求められる。

アートを活かしたまちづくりについて

問芸術家の活動資金を補助する考えがあるか。
答企画部長 現時点では補助の予定はないが、アートを活かしたまちづくりの考え方が広がり、市民の理解が深まり、そういった声が上がってくれば、報酬という形でお金を渡すということは可能だと思う。イベントなどで作品を作ってもらい、それに対する対価としてお金を渡すというのは、大きな補助になると思う。



小島 耕一議員



那須塩原駅周辺の都市整備について

問那須塩原駅周辺の開発が進まなかった要因は。
答企画部長 さまざまな要因が絡んでいるが、明確なコンセプトを発信する必要があると思う。
問那須塩原都市計画地区計画（大原間周辺地区）の高さ制限について、商業地開発に及ぼした影響をどのように分析しているか。
答建設部長 大原間地区周辺に高層建築を考えている業者にとっては進出をためらう要因になったと考えている。
問この高さ制限を見直す場合には、どのような手続きを行うのか。
答建設部長 都市計画法に基づく地区計画の変更が必要になる。具体的には、都市計画審議会を変更を決定し、県との協議も必要になる。
問駅前広場など那須塩原駅前のビジョンはどのような検討を行うのか。
答市長 駅前広場や産業道路の整備は継続事業であり、これまでどおり進める。今回のまちづくりビジョンでは、ランドデザインの作成を想定している。
問新たな開発に影響を与える新庁舎には、どのような役割を持たせるのか。
答市長 これまでは新庁舎を核としたまちづくりの議論であったと認識している。今後まちづくり委員会を立ち上げ、委員から庁舎以外にも意見が出る可能性があり、役割はここまでという決定はしていない。



金子 哲也議員



リンツ市との交流について

問将来的な構想と交流の進め方は
答市長 地方にいても海外を身近に感じることができるとが那須塩原市の魅力の一つである。さまざまな分野で、友好親善のための交流、持続性のある交流、時代のニーズに合った交流、市民が主体的に交流するための活動を支援し、交流を促進する。リンツ在住者で、民間レベルでの交流であったり、連絡窓口があってもよいとも感じている。リンツ市との関係をより強固にし、対外的に、もっと発信をしていきたい。リンツ市との関係は、大きなポテンシャルを秘めている。リンツに行き交流することは、素晴らしいことであり、何ができるか、市民の意見などを聞きながら今後研究していく。

国際化の進展の中で市の組織・体制は

問急速に国際化が進展する中、那須塩原市も十分対応できる体制づくりが必要である。今後国際化に特化した組織を検討する考えは。
答市長 国際化の進展や外国人技能実習制度の導入により、那須塩原市を訪れる外国人や本市に暮らす外国人は増加が見込まれる状況にあると認識をしている。今後総合的に検討し、国際化に対応できるよう、見直しをしていきたい。



星野 健二議員



LGBT（性的マイノリティー）への理解と支援について

問市の職員がLGBTについて、理解することが必要であると思うが、市の考えは。
答企画部長 個性が尊重され、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指す上で、市の職員が理解することは大切なことである。
問LGBTを理解するための職員研修を行う予定は。
答市長 共生社会、または多様性を認め合う社会という考え方がなければ、那須塩原市を訪れ、住んでもらうことは難しい。今後LGBTについてどのように理解してもらうか検討する。
問小中学校の図書室や保健室にLGBTに関する本を置いたり、また理解を促すポスターを張ったりしているか。
答教育長 LGBTについて周知を図っていく取り組みは大変重要である。LGBTの生きづらさを、私たちがどう受けとめ、かかわるか、ということは一は人権に関するものであり、今後学校で周知を図り、指導について共通理解を図る。
問すべての市民の人権を尊重するため、「パートナーシップ制度」を導入する考えは。
答市長 市の実情や先進事例の調査結果を踏まえ、検討する。

幼児教育・保育の無償化への対応について

問無償化による保育ニーズの高まりが予想されるが、0～2歳児の待機児童を解消する方法は。
答子ども未来部長 保育の必要量を見込みながら、子ども未来プラン、保育園整備計画の中で対応していきたい。





櫻田 貴久議員



観光行政について

問 温泉地が抱える課題にどのように取り組むのか。

答 産業観光部長 温泉地は、温泉街のまちづくり、旅館などの後継者問題、二次交通対策などの課題を抱えている。それらの課題に対して、行政や観光局、地元関係者が役割を分担し、連携しながら課題解決に取り組んでいく。

問 観光行政の取り組みについて伺う。

答 市長 市の観光振興の指針となる観光マスタープラン策定事業、観光振興体制の確立支援のための観光局支援事業、市内全域の観光プロモーションや品質管理などの観光誘客促進事業、観光施設の管理運営事業に取り組む。また、新たな事業として、本市の食を通じてその地域の文化や歴史を知る O N S E N ・ ガス ト ロ ノ ミ ー ツ ー リ ズ ム、温泉を使ったヘルスツーリズムおよび自然を体験するエコツーリズムなどの取り組みを考えている。その他、ペットを連れて一緒に旅行をするペットツーリズムなど新たなツーリズムの形態も出てきているなか、新たなハードを作るのではなく、既存の観光資源を活用して、新しい顧客を迎え入れる体制を築いていきたい。

黒磯公園の整備について

問 将来、黒磯公園をどのように活用するのか。

答 市長 桜の名所としての知名度を生かしながら多くの人から愛される公園として活用していきたい。



益子 丈弘議員



農畜産業分野における今後の取り組みについて

問 20年前に比べ農家数が約20%減少した。経営者の高齢化が進み、担い手不足がますます懸念される。農業の後継者を今後どのように育成するのか。

答 産業観光部長 今年度新たに、農務畜産課担い手支援係を設置し、体制を強化している。農業委員会、農業公社、JAなすのと緊密に連携し、育成施策を検討、取り組みを進めていきたい。

問 園芸作物の支援の現状と振興の課題は。

答 産業観光部長 県の園芸作物関連補助事業への上乘せ補助のほか、補助対象となる品目を園芸作物全般に拡充し、市独自の支援を昨年度から実施している。今後は、園芸作物の高付加価値化を目指し、JAなすのブランドである「ビューティフルブランド9」や、市のブランド認定品で、市場でも高い評価を受けているカブ、ハウレンソウ、大根などを中心に関連機関と連携を図りながらブランド力の向上に取り組む。

耕作放棄地についての現状と課題

問 耕作放棄地の現状と課題は。

答 産業観光部長 農林業センサスによると、平成27年2月現在で336haで、5年前から54ha増加している。課題は、耕作放棄地の解消に向け、新たな耕作者の確保、農地の再生、農地の流動化をいかに進めるかである。耕作放棄地を集約して農業のさらなる活力になるよう取り組んでいきたい。



星 宏子議員



災害備品に乳幼児用液体ミルクの備蓄を

問 災害備品として、乳幼児用液体ミルクを備蓄する考えはあるか。

答 市長 常温の乳幼児用液体ミルクは、保存期間が半年から1年間と短期であり、保管場所の確保や備蓄にかかる費用が課題である。国では、災害時の備蓄品として粉ミルクに代わる新たな選択肢との認識を表明しており、今後もその動向を注視していく。

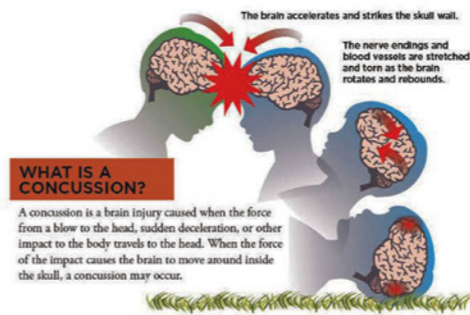
問 大規模災害時、大手の食品流通業者との連携協定に乳幼児用液体ミルクを入れる考えは。

答 総務部長 災害時の物資供給協定は3社と結んでいる。その中に、乳幼児用液体ミルクを追加できるかどうかは今後検討していく。

軽度外傷性脳症(MTBI)について

問 MTBIは軽度外傷性脳損傷、軽傷外傷性脳損傷などと呼ばれ、欧米では糖尿病患者に匹敵する数の患者がいる。WHOでは毎年10万人当たり150~300人が発症しているとの報告もある。原因は、交通事故、転倒、転落事故、暴力、乳児の揺さぶり、スポーツによる外傷などである。症状を自覚し、早期の受診をすることで、回復につながることから、市民への周知を行う予定は。

答 市長 MTBIは市民一人一人の理解と支援が求められる病気である。社会的な理解が高まれば、早期の受診と治療につながるほか、周囲からの理解や支援も受けやすくなることから、市民に認知されるよう、周知について検討する。



高久 好一議員



市長の政治姿勢について

問 今回の選挙で掲げた公約の考え方は。

答 市長 公約は、市民に示した市政運営の方針であり、市長として今後、具体的な形にして実行していかなければならないと考えている。

問 最初に取り組む公約は何か。また具体的な施策や年次計画があれば示して欲しい。

答 市長 第2次那須塩原市総合計画をはじめとした各種計画や既存事業との調整後、改めて示したい。まずは那須塩原駅周辺のまちづくりビジョンの策定に取り組んでいきたい。

問 市民にも来訪者にも優しいまちをつくるため、市民の意見をどのように取り入れるのか。

答 市長 市民との議論の積み重ねは、尊重しなければならない。さまざまな形で市民の声を取り込んでいく予定でいる。

幼児教育・保育の無償化について

問 10月から幼児教育・保育の無償化が予定されている。対象となる保護者への周知方法は。

答 子ども未来部長 施設を通じて保護者へ個別に通知するほか、広報、ホームページなどへの掲載を予定している。

問 給食費が実費負担となることで、負担増となる園児数と負担総額は。

答 子ども未来部長 4月1日現在で算出した人数は約230人で負担総額は約1,240万円である。

問 国の無償化に合わせ、市独自で子育て支援を行う考えや計画は。

答 子ども未来部長 現時点で、新たに市独自の子育て支援を行う計画はない。



齋藤 寿一議員



塩原視力障害センター跡地取得について

問 宇都宮財務事務所との交渉の進捗状況は。

答 市長 平成 29 年 5 月に宇都宮財務事務所跡地の取得要望書を提出したが、取得を要望した範囲が跡地の一部であり、国有地に残地が発生するため、再度協議中となっている。跡地利用の必要性、緊急性、実現性などの審査を受けるため、具体的な計画について協議を進めている。

問 今後どのように取得を進めていくのか。

答 市長 塩原視力障害センター跡地は、地域振興の拠点となると考えている。その取得に向けて、地域の特性や地元の意向を踏まえた上で、引き続き宇都宮財務事務所との協議を進めていきたい。

幼児教育・保育の無償化について

問 3 歳から 5 歳までの幼児教育・保育が無償化されるが、対象となる施設は。

答 市長 幼稚園、保育園、認定こども園、地域型保育施設、認可外保育施設、児童発達支援施設などである。

問 今回の無償化の中で、対象外となるのは。

答 市長 保育の認定を受けずに利用する幼稚園などの預かり保育、保育園などの延長保育、ファミリーサポートセンター事業での送迎などである。

問 兄弟が別々の保育園に入園している状況と問題・課題は。

答 市長 4 月 1 日現在、12 世帯 26 人の子どもが別々の保育園に通っている。入園選考における優先度が課題であり、他市町の状況を参考にしながら、入園選考基準の見直しを検討する。



齋藤 誠之議員



公共交通網について

問 公共交通網形成計画では那須塩原駅が一つのハブ（交通結節点、複数の交通手段の接続が行われる場所）であるが、ゆーバスとゆータクが乗り合わせる場所、また集客施設が近くにある場所をハブとして組み直して、そこからスポーク（放射状）につくるということも考えられるが、ハブ化について本市の考えを伺う。

答 生活環境部長 再編計画は、来年の 10 月から第 2 段階に入る。公共交通、ゆーバスとゆータク、観光などで考えたとき、大きいハブは那須塩原駅だが、小さなハブや、乗りかえが必要な箇所の検討も課題であり、新たなハブについても進めていきたい。

本市の学校教育について

問 教科担任制導入の課題と導入後の効果は。

答 教育長 この議論は始まったばかりであるが、現段階の課題は、専門知識を備えた教員を各学校に配置することが可能かどうか、また教員数の少ない小規模校では、教科担任制の導入が難しいことなどが挙げられる。効果としては、専門知識を備えた教員が教えることで、発達の段階に応じてより深く学ぶことができるようになる。また教員にとっては、専門科目を中心に、担当する教科の数が減り、負担軽減にもつながる。その結果、教材研究の時間がこれまで以上に確保できるため、授業の質の向上が図られることも期待できる。



鈴木 伸彦議員



那須塩原市のビジョンと取り組みについて

問 那須塩原市の現状認識について。

答 市長 対外的な課題は、本市の魅力を保てていないのではないか。対内的な課題については、地域間の融和、コミュニティや自治会と行政との連携のほか、市内での人口格差が出てきている。また、農業や観光はブランド力の向上を図るべきと考えている。課題は多いが、那須塩原駅前を県の北都の玄関口としてふさわしいものとなるよう整備をする。こういったビジョンを持つべきか、そこから始めていく。

問 第 2 次総合計画の予想より人口減少が進んでいるが市長の認識は。

答 市長 端的には、働く場所がないからであり、地元に戻ってきたいと思っている人はたくさんいると思う。また、地理的な優位性はあるが、今後の対応について、県南の自治体から学ぶことは多くあると思っている。

問 行政サービスと財政はセットであり雇用創出が課題と考えているが、新たな雇用創出の観点から企業誘致の取り組みについて伺う。

答 市長 工場やサテライトオフィスなどの企業誘致は、トップセールスも含めて実施していく。ただし、ディベロッパー（開発業者）からは、本市のような立地場所はどこにでもあるなど厳しい声が多いと思う。大手企業から見た那須塩原市の現状を把握し、どうすれば少しでも大手企業の目に留めるかを今後立ち上げる予定のまちづくりの準備委員会で協議していく。



全国市議会議長会から表彰

市議会議員として 10 年在職した議員 5 人に対し、全国市議会議長会から、市政の振興に貢献したことにより、表彰状が贈られました。



議員在籍 10 年の表彰を受けた 5 人。左から大野恭男議員、鈴木伸彦議員、松田寛人議員、櫻田貴久議員、伊藤豊美議員

姉妹都市の新座市と交流を深める

7 月 2 日、3 日、姉妹都市交流事業により埼玉県新座市を訪問しました。今後の本市新庁舎建設の参考とすべく、新座市の新庁舎を視察し、さまざまな意見交換を行いました。また、児童センターや区画整理地、野火止用水公園、ふるさと新座館などを現地視察し、多くを学ぶ機会となりました。両市がますます固い絆で結ばれ、有意義な 2 日間となりました。



Future

～わたしの夢～ No.8

箒根中学校3年

いんなみ ゆうや
印南 雄也さん

将来の夢は人を笑顔にするラーメン屋さん！

僕の考えるラーメンがとても美味しそうと言われたことがきっかけで、ラーメン屋になりたいと思うようになりました。好きなラーメンは醤油味で、特にトッピングのメンマが大好きです。今は、なかなかうまくできませんが、手に入る食材でしをとったりチャーシューを作ったりしています。

将来の夢を叶える前に、まずは高校受験をがんばります。高校に進学したら、放課後はラーメン屋でアルバイトをしながら修行したいと思います。そして美味しい醤油ラーメンを完成させて、ラーメンで地域を盛り上げていくことが目標です。いつかは自分を優しく育ててくれている両親に親孝行がしたいです。



雄也さんは、とても気遣いができて、困っている人がいると率先して助けてあげる思いやりのある生徒です。将来はラーメンを通して箒根地区の発展に貢献していきたいと、しっかりと夢を持って頑張っています。
(推薦者 櫻岡久也先生談)

議会暦

日	月	火	水	木	金	土
8/18	19	20	21	22 議員全員協議会	23	24
25	26	27	28	29	30	31
9/1	2	3	4	5	6 本会議 開会	7
8 総合防災訓練	9 本会議 会派代表質問・一般質問	10 本会議 一般質問	11 本会議 一般質問	12 本会議 一般質問	13 本会議 議案質疑	14
15	16	17 常任委員会	18 常任委員会	19 常任委員会	20 常任委員会	21
22	23	24	25	26 委員会 議員全員協議会	27 本会議 閉会	28

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。
本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

広聴広報特別委員会が発足！

議会だより編集委員会と議会報告委員会が統合しました。統合の目的は、「報告会の円滑な実施および運営」、「議会だよりの編集および発行」以外の「広聴」や「広報」に関する事項の研究・検討を行うことにあります。

また、既存の両委員会が類似した調査・研究・行政視察を必要とするケースも考えられるため、統合することで、議会内における役割分担の効率化や機能集約が図られます。

編集後記

東京オリンピック・パラリンピック2020開催まで残り1年を切り、本市は東京2020オリンピックの聖火リレールートに選ばれました。オリンピック聖火リレーとは、ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、来るオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目を持っています。「ぎかいのひととき」にも市民の皆様から関心と期待をお寄せいただき、議会広報誌の金メダルを獲得できるように頑張ってお参ります。(山形紀弘)